

第2回釜石市民ホール建設検討委員会開催結果

日 時	平成25年9月2日（月）午後6時00分から午後7時45分まで
場 所	市役所第4会議室
出席者	次頁のとおり
次 第	以下のとおり
結 果	下記のとおり

<次第>

1. 開会
2. 挨拶
3. 釜石市民ホール基本構想（案）について
4. 意見交換
5. 事務連絡
6. 閉会

第2回釜石市民ホール建設検討委員会 出席者名簿

氏名	備考	出欠
◆釜石市民ホール建設検討委員会		
岩切 潤	釜石市芸術文化協会会長	出席
佐々木 重雄	釜石商工会議所専務理事	出席
木下 佳子	かまいしの第九実行委員会事務局長	出席
久保 秀俊	市民劇場実行委員会事務局長	出席
山内 真紀人	釜石市民吹奏楽団指揮者	出席
野島 諭	宝樹寺住職	出席
菊池 政時	画家	出席
山崎 詔子	演奏家	出席
福成 菜穂子	自営業	出席
山口 里美	R C F 復興支援チーム	出席
井上 淑子	市民公募	出席
西条 佳泰	市民公募	出席
◆オブザーバー		
門脇 悌志	釜石高校教諭	出席
◆事務局		
平松 福壽	釜石市	復興推進本部 リーディング事業推進室 室長
佐々木 護		主任
菊池 太介		主任
茨木 いずみ		釜石リージョナルコーディネーター
山下 貴子	株式会社シアターワークショップ チーフ	
氏原 茂将	メディアセブン企画・運営ディレクター	
◆庁内関係者		
菊池 郁夫	釜石市 教育次長兼市民文化会館館長事務取扱	
佐々木 研一	釜石市教育委員会 市民文化会館館長補佐	

<結果>

1. 開会（佐々木主任）

2. 挨拶（平松室長）

委員紹介（佐々木主任）

- ・ 前回欠席の野島委員及び山口委員の紹介
- ・ 配布資料の確認

3. 釜石市民ホール構想（案）について

- ・ 第1回委員会議事録の確認
- ・ 構想案について概要説明（平松室長）別添構想案のとおり
- ・ 構想案について詳細説明（シアターワークショップ山下） 以下「SW」

4. 意見交換

（釜石高校 釜石高校門脇先生から高校1年生165名を対象としたアンケート調査
門脇先生） の結果報告。（別紙参照）

彼らの生活に市民会館の存在はない。そういった状況での回答になる。収容人数に関しては小さくなるのに抵抗があるようだ。大船渡に負けたくない。そういった意見があった。根拠はないが大きいホールを望んでいるようだ。

海から離れた場所がいい。吹奏楽部の話になるが、規模が小さいとコンクールが開催できない。運営を経験しないで終わってしまうのは残念なこと。

（岩切委員長） 順を追って意見を伺いたい。まずは1章。特になければ先に進む。

（野島委員） 小ホールは配置図のどこ？

（SW 山下） 2階に配置されている。

（山内委員） 昭和53年当初の建設理念と現在の理念に相違はあるのか？今までの会館を否定することから入っているような感じがする。使い方の問題で旧会館はいいものだと思っている。

（菊池委員） 利用者の声を聞かなかったことが考えられる。

（事務局 平松室長） どんな理念については調べてみる。前回の反省点をふまれば利用者の声を聞くことが大事。当時は当時のやり方で声を吸い上げていたと

思う。今回大きく違うのは利用者のヒアリングをしている。この素案も多くの方から意見をいただきまとめたもの。

(山内委員) 文化会館ができる前にどこで活動していたか聞いた。旧会館に大きな想いを抱いたそうだ。800 人の大ホールは反対だ。震災があった、運営が大変だ。それは分かるが希望まで小さくすることはない。田園ホール級の大きさだ。1,200 人でも小さく見える。これまで民間でやっていたイベントを市民ホールで行うことになり民間でのイベントを奪い取る可能性もある。「1,200 人」にアンケートの結果が集中しているので、私も希望する。

(山口委員) 800 人と 1,200 人はあまり変わらない。立地のアクセスや音響環境、箱の大きさではなく機能の問題だと思う。そうすればリピーターも多くなる。1,200 人を望むのであれば設計かと。

(井上委員) 1,000 人を超すイベントは今までなかなかない。

(久保委員) 客席の規模は採算性もある。800 人では採算性をとれないが、1,000 人では採れる場合もある。もう少し議論が必要ではないか。

(井上委員) 釜石で観客を 800 人、集めるのは大変なことだ。

(福成委員) 客席については減ってもやぶさかではないと思っていた。単に減らすことだけでなく議論が必要ではないか。若い高校生が望んでいる。

(西条委員) 客席の話がでている。1、2 階の客席の割合は？1、2 階併せて 800 人と言うことか。

(SW 山下) 併せて 800 人となる。2 階席は 167 席を想定。

(福成委員) ステージの間口が狭くなるのは利用者に不便を感じる。大きな話だ。

(事務局
平松室長) 客席については事務局最大の悩み。失うものと得るもののバランス。使い勝手がいいか。800 人としたのは肉声が届く限界であること、オーケストラ演奏の実績もあることなどが理由。客席数よりも他の機能でという想いがあった。メリット・デメリットがある。その点についてご議論いただきたい。

(岩切委員長) 章に関係なくご議論いただきたい。

(福成委員) 会議室について、和室の会議室ではだめなのか？書道、お茶のニーズもあるだろう。置き畳にする理由は？

(SW 山下) 和室の利用率が高くない。ホールの大きさの議論と同じ。どこをピックアップするかの話になる。どれを優先するかになる。こういう活動

でこういった使い方をしたいというご意見をいただきたい。

(井上委員) 専用の和室を設置していただきたい。市内には和室がある施設がない。伝統的な和室があってほしい。需要もあると思う。琴、書道もある。他を削っても欲しい。

(岩切委員長) 別の WS で和室について意見を言ったが、近隣からそれを目当てに人が来るような茶室がほしい。

(SW 山下) 和室と茶室は違う。

(岩切委員長) 床の間があって、水屋があるもの。

(事務局
平松室長) 総事業費の関係もある。和室を作るならトイレを削るとか優先順位の話も考慮していただきたい。

(SW 山下) 取捨選択や優先順位が必要となる。そういったご議論をお願いしたい。

(岩切委員長) 旧会館と敷地面積は違うのか？

(事務局
平松室長) 旧会館の敷地とほぼ同じ。

(SW 山下) 配置や形状で相違がある。

(事務局
平松室長) 旧会館では利用できない方もいた。防音も課題となっていた。高校生のバンド活動がそう。何かを減らして何かを追加する。そういった考え方で想定している。

(井上委員) 練習室が7つもある。そのうちの1つは和室にしていいただきたい。

(西条委員) 前回、青葉ビルとの棲み分けの話をさせていただいた。アイデアとして青葉ビルに和室を設置する考え方もあるのではないかな。

(岩切委員長) 震災後、施設がなく会場の取り合いになっているのが現状だ。

(菊池委員) 小川の働く婦人の家に和室がある。そういったところの利用も考えられるのではないかな。働く婦人の家は利用制限もあるが、青葉ビルの活用を含めて検討が必要だ。

(岩切委員長) 働く婦人の家は混んでいる。その他の話題で意見があれば何う。大ホールは展示もできるのかな？

(SW 山下) 平土間に出来るので、移動式のパネルがあれば可能となる。長野県茅野市のホールを参考にしている。

(岩切委員長) (回収する図面は) PP で投写しろと前回要望した。

(山内委員) 和室はあった方がいいと思うが、和室は市内の他の施設を使い回せて

いる。私どもは活動する場所すらない。大ホールを利用する人を優先していただきたい。

(山崎委員) 大ホールにはグランドピアノが2台ある。小ホールは？練習室にグランドを入れていただきたい。

(SW 山下) 小ホールに移動できる動線を考える。練習室のどこかにはピアノを入れるようにしたい。

(山内委員) 茅野市のマルチホールをベースに考えているのか？

(SW 山下) その通り。

(山口委員) 楽屋の動線はこれほど必要か？もう少し減らせる工夫があるのではないか。

(SW 山下) 動線は考えている。楽屋が足りないという声もあった。練習室との併用も考えている。足りる足りないはご意見をいただきたい。

(西条委員) 交流センターの1、2階がテナントだが想定は？

(事務局
平松室長) 業態は物販、飲食。飲食は専門店ではないものを想定している。ラウンジはロビー的な位置付け。核店舗になるようなものを検討している。何でもいいという訳ではない。にぎわいの中心になるものを考えている。

(SW 山下) 交流会ラウンジは、映画の上映会もできるマルチな使い方もできる。展示空間としても活用できると思っている。

(野島委員) ラウンジに和室や洋室の配置はできないか。お茶の専門店を作ってはどうか。釜石に行くときすごいよ。それくらい力を入れていただきたい。

(岩切委員長) 入居する店舗には特徴を出していただきたい。

(福成委員) カフェと店舗も配置を今一度、考えてほしい。本当に魅力あるものを希望する。カフェや店舗が必要なのか。角度を変えてご検討いただきたい。

(野島委員) 防音が必要な練習室。併用できる部屋割りなど、区割りの再考をお願いする。暗い建物は印象が悪い。使っていなくても良い雰囲気を作り出せるようお願いしたい。

(山崎委員) チケットビューローはないのか？人でにぎわう状況もできる。

(SW 山下) 事務室カウンターで兼ねるのがいいのではと想定している。貸出受付やチケット販売も運営でどうにかなると思っている。

(山内委員) ポスターの掲示等、催しものを案内できるスペースも必要だ。

- (菊池委員) 店舗は街中の商店街と競合するのではないか。
- (岩切委員長) 喫茶は外に行けば済む話だ。旧会館でも辞めている。自動販売機を置けばよい話だ。
- (事務局
平松室長) 頂戴した意見は集約して分析する。本日は大ホールの客席や和室の話だった。優先順位の話、多機能の棲み分けの話、どういった組み合わせでやるのがいいのか。次回、お諮りしたい。
- (岩切委員長) 今の発言で閉会としたいが、他にご意見は。
- (釜石高校
門脇先生) 釜石市民のための施設なのか。外から人を集める施設なのか。疑問を感じた。何でもなるは何にもならないと思う。話を聞いていてそう感じた。
- (事務局
平松室長) 客席について意見収斂できるか。ご意見の強さをお諮りしたい。
- (山内委員) 市外の方に 800 人ではコンクールはできないと言われた。旧会館の 1,200 人か宮古市と同等の 1,000 人規模はあった方がいいと思う。
- (福成委員) 稼働率、利用者、可動にするか。いろいろ考えるところはある。
- (山内委員) 復興は市民ホールが中心で考えるべき。なんでもできるのは反対。強くお願いする。
- (久保委員) 同感だ。代わりの場所がない。最大限の器がほしい。
- (釜石高校
門脇先生) 大ホールの規模が小さいとコンサートは呼べない。
- (事務局
平松室長) 800 人では小さいと収斂できるか？
- (岩切委員長) 吹奏楽関係者がコンサート開催基準にあわせて 800 人以上とのご意見がある。何かを削る覚悟も必要だ。
- (野島委員) これからの時代、子どもの数が増えることはない。以前と同じ水準のものをどうコンパクトに実施するかが今のトレンドだと思う。運営に関しても、大きくなればなるほど大変。市がかぶるのか。工夫が必要なのではないか。利用する側も変わらないとならない。
- (井上委員) 同感だ。運営も考えていかなければならない。
- (事務局
平松室長) 意見を集約して市からご提案させていただく。

5. 閉会 (佐々木主任)

今回のご意見を踏まえ第3回委員会で案として提示する。次回委員会は10月上旬を予定している。宜しくお願いする。

※その他 アドバイザーについて（平松室長）

もうひと方、追加でアドバイザーをお願いする予定だ。釜石出身の方で活躍している。市から依頼したい。→委員全会一致（意義なし）